



議会だより

9月定例会号

平成29年10月27日発行

No.139

# こうみ

- 町のお金はどのように使われました ②
- 平成28年度決算審査意見書 ④
- 9月議会 ー第3回定例会ー
- こんなことが決まりました ⑥
- 一般質問 ⑧
- 常任委員会からの要望 ⑬
- 編集後記 ⑱

観光キャンペーンで賑わっている白駒の池

守らせて みなさんの夢

みなさんの未来に寄り添うために

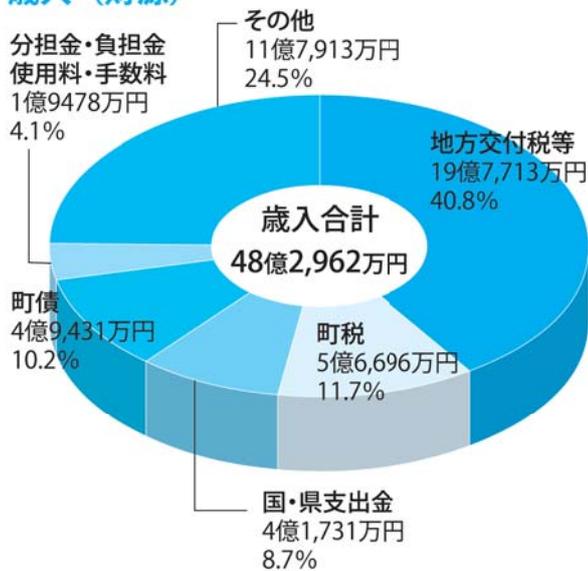
# ように使われました 決算を認定

## ●平成28年度決算概要

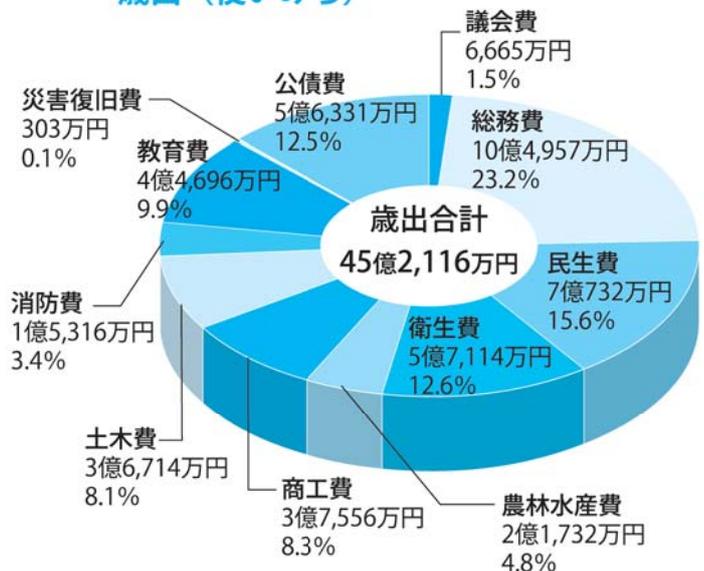
一般会計の歳出は約45億2116万円となり、27年度と比べて3億3296万円7.9%増加となりました。増加の主なものは、大田団地造成事業、町営住宅建設・改修事業、総合センター改修費などです。



### 歳入（財源）



### 歳出（使いみち）



## わがや 小海町家の 家計簿

～小海町の平成28年度決算を  
年収500万円の家計に例えると～

### 収入

給与収入（町税）	59万円
一時的な手当	
（譲与税、各種交付金、国・県支出金）	61万円
パート家賃収入	
（分担金及び負担金、使用料及び手数料等）	55万円
預貯金の取り崩し（基金繰入金）	39万円
前年度からの繰越金（繰越金）	49万円
親からの援助（地方交付税）	186万円
住宅、車、生活資金のローン（町債）	51万円
合計	500万円

### 支出

食費（人件費）	57万円
医療費（扶助費）	24万円
光熱水費や生活消耗品など（物件費）	110万円
住宅の増改築や車の購入など（建設事業費）	102万円
住宅、車のローン返済（公債費）	62万円
子どもへの仕送り（他会計への繰出金等）	39万円
自治会費などへの支出（補助費等）	45万円
維持補修費他（災害復旧費他）	12万円
預貯金他（積立金他）	49万円
合計	500万円

# 平成28年度

# 町のお金はこの

## 平成28年度一般会計決算

歳入 48億2,962万円      歳出 45億2,116万円  
 差引額 3億 846万円

### 〈一般会計〉 おもな使いみち

町民1人当たり  
945,256円

#### 総務費

- ・旧公民館解体工事 4,104万円
- ・町制60周年記念事業(全体で) 3,158万円
- ・大田団地造成事業 1億6,480万円

#### 民生費

- ・臨時福祉給付金 2,485万円
- ・福祉医療費 3,155万円
- ・子育て応援支給事業 754万円



#### 衛生費

- ・保健センター改修工事 4,320万円
- ・健診・各種予防接種 2,462万円
- ・町営住宅建設・改修事業 1億6,481万円
- ・町営バス購入費 1,580万円

#### 農林水産費

- ・直売所改修費 3,240万円
- ・松原八那池処理施設用途変更改修費 2,577万円



#### 商工費

- ・地域商業活性化事業 プレミア付Pマネー補助 1,000万円
- ・Pポイントシステム構築事業 2,566万円

#### 土木費

- ・道路整備事業費 2億3,058万円
- ・除雪等道路管理費 8,165万円



#### 消防費

- ・松原詰所改修費 410万円
- ・小型ポンプ積載車購入費 521万円
- ・消火栓ホース更新費 194万円



#### 教育費

- ・小海小学校費 3,572万円
- ・総合センター改修費 7,044万円
- ・公民館耐震工事費 1,986万円
- ・美術館映像システム更新 1,961万円

**各会計  
特別会計決算額**

介護保険事業  
特別会計  
歳入 6億4,518万円  
歳出 6億3,989万円

農業集落排水  
特別会計  
歳入 6,389万円  
歳出 6,389万円

中学校組合会計決算額  
歳入 1億1,047万円  
歳出 1億 574万円

国民健康保険  
事業特別会計  
歳入 7億1,818万円  
歳出 6億9,519万円

後期高齢者医療  
特別会計  
歳入 7,040万円  
歳出 7,030万円

水道事業会計  
(収益的収支)  
歳入 9,808万円  
歳出 9,098万円

南佐久環境衛生組合  
会計決算額  
歳入 11億6,028万円  
歳出 11億4,694万円

共に町制施行60周年記念事業として様々な取組みが行われた。引き続き総合戦略の目標達成に向け定住促進、子育て支援、安心し健康で豊かな暮らしができる支援など積極的に進められたい。

#### ○財政指数等について

公債費比率は、交付税措置分を除いた元利償還金の標準財政規模に対する割合で、この比率は低下傾向だが、まだ町債残高が基金現在高より11億2千万円ほど上回っているのが現状である。

自主財源及び依存財源の割合、実質収支比率並びに実質公債費比率は健全化傾向だが、経常収支比率は、地方消費税及び普通交付税の減の影響により前年度比2.7%高い81.1%となった。

常に効率的な行政運営や町の果たすべき役割を踏まえ持続可能な財政運営のため、行政・財政改革を着実に推進されたい。

#### (2) 収入未済額解消について

全体的に収入未済額圧縮に努力されたことが伺える。しかし、負担の公平と財源確保の観点から、税、保険料・使用料等に収入未済額が発生することは極めて重要な問題である。

大口滞納者の多くは多重滞納者であり、これらを減らすことが収入未済額を減らすことにつながると考える。債務者や滞納者の生活実態、財産調査を的確に行い、計画的で適正な徴収に心掛け、収入未済額の圧縮に向けた適切な事務処理に努められたい。

#### (3) 事務事業全般

(ア) 大田団地宅地造成については、19区画のうち現在9区画が売買契約済みとなっている。残り10区画については、広報等の対策を検討し早期の完売に向け努力されたい。

(イ) 地方創生総合戦略については、各分野に渡り事業が実施されている。実施状況や成果などについて積極的に広報に努められたい。特に町ホームページについては、適宜に更新を行い、常に最新情報を掲載するよう努められたい。

(ウ) 「鞍掛豆」、「小海そば」については、荒廃農地抑制対策を主目的とし6次産業化の推進も含めて取り組んできているが、必要生産量の確保や商品化などに苦慮されている。諸課題を踏まえ今後の方向性、方針等について検討されたい。

(エ) 子育て支援事業については、当町では他町村に比べ手厚い施策を実施しており、引き続き支援制度のPR及び若者定住の推進に努められたい。

#### (4) 施設の運営管理について

(ア) 農産物加工直売所については、地元農産物及び加工品による交流人口拡大や地域活性化の拠点施設としてその役割が期待されており、直売所の会への指定管理も含め魅力ある施設づくりや集客力の向上に努力されたい。

(イ) 小海町高原美術館については、「君の名は。」展等により過去最高の入館者数を記録し、また学校との連携も深められた。今後は映像システムの活用、20年経過した施設の維持管理対策等に万全を期されたい。

# 平成28年度決算審査意見書

監査委員 篠原 利樹  
監査委員 篠原 伸男

## 1 審査の概要

### (1) 審査の期間

- ・実地審査 平成29年7月20日(木)
- ・書面審査 平成29年7月27日(木)、7月28日(金)

### (2) 審査の手続き

各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、決算計数及び執行状況の確認・分析を行い、財政、資金運用、財産管理及び主要事業の各状況について、それぞれの関係諸帳簿及び証書類との照合並びに実地審査を行うとともに、担当係から決算についての説明を聴取し、併せて定期監査及び例月出納検査結果も考慮して実施した。

## 2 審査の結果

審査に付された一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書並びに実質収支に関する調書の計数はそれぞれの関係諸帳簿及び証書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

予算の執行に関しては、目的を適正に達成するため内部統制の基、迅速で誠実かつ確実な事務処理になお一層努力されたい。その内容は後述の意見・総括のとおりである。

## 3 意見

### (1) 総括的意見

#### ○歳入について

町税は、大きく増減した税目もあるが全体として0.1%減となった。地方消費税交付金は、対前年度比13,682千円(13.4%)減で、この要因は、円高等により国全体の減収によるものである。

地方交付税は、対前年度比41,270千円(2.2%)減となり、この要因は、人口と単位費用の減により基準財政需要額15,862千円(0.7%)減及び特別交付税の不採算地区公的病院13,894千円(46.3%)減が主なものである。交付税は国の財政状況等で大きく左右され安定した収入見込みが難しく、今後も予算計上は過大に見込まないよう留意されたい。

歳入全体としては、対前年度で171,433千円(3.7%)増となった。引き続き的確で適正な歳入の確保に努められたい。

#### ○歳出について

人口減少対策、交流人口拡大等のため大田団地造成事業を約164,000千円で19区画整備し、又町営住宅建設を昨年度の土村栄町4戸に続き土村南町に8戸整備した。

地方創生関係事業は、ポイントシステム構築費補助、小海駅舎修繕事業等が実施されると

# こんなことが決まりました

## 29年度一般会計補正予算 (第2号)

全員賛成で可決

2億3,331万円を追加補正 総額39億5,641万円

### 【歳出の主なもの】

- フィンランド村訴訟事件委託料、大田団地公園遊具設置の追加計上 284万円
- 東馬流水路改修工事の追加計上 262万円
- 信州DC関連に伴う費用の追加計上 202万円
- 道路修繕、除雪機購入費の追加計上 1,050万円
- 集落内舗装費用の追加計上 1,242万円

## 29年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)

全員賛成で可決

1,262万円を追加補正 総額7億62万円

## 29年度介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)

全員賛成で可決

362万円を追加補正 総額6億6,192万円

## 29年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)

全員賛成で可決

295万円を追加補正 総額7,372千円

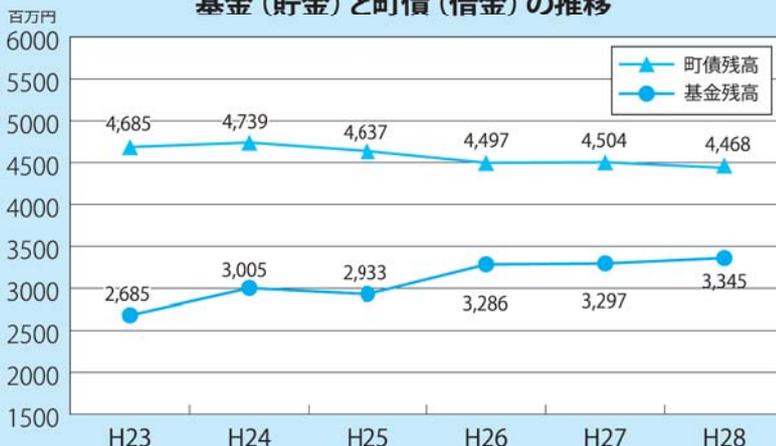
平成29年小海町議会第3回定例会が8月31日から9月22日までの23日間の会期で開催されました。条例改正案3件、補正予算案4件、決算認定6件、事件議決1件、陳情1件の合計15件で審議が行われ、全案件が可決・認定されました。一般質問では、9名の議員により行われ、町の考えをただししました。

## 財政調整基金

### ●基金とは

一般家庭に貯金があるように、町も基金という貯金を持っています。

基金(貯金)と町債(借金)の推移



平成28年度末  
町債残高(借金)  
44億6,805万円  
町民1人あたり 934,152円  
(前年比3,597万円減)

平成28年度末  
基金残高(預金)  
33億4,461万円  
町民1人あたり 699,270円  
(前年比 4,750万円増)

# 9月議会 第3回定例会で

## 条例改正等

◆小海町監査委員条例の一部を改正する条例  
例月出納検査の実施日について「毎月10日」を「毎月15日」に改めるものです。

全員賛成で可決

◆小海町医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例  
平成30年8月から長野県内で開始される福祉医療費の現物支給、窓口無料の対象者を「満18歳の年度末までのもの」と定めるものです。

全員賛成で可決

◆小海町観光交流拠点センターの設置及び管理に関する条例  
小海町からまつ林業センターを解体しその跡地に小海町観光交流拠点センターの整備を現在進めております。この施設の設置及び管理に関する条例を新規に定め併せて「小海町からまつ林業センターの設置及び管理に関する条例」を廃止、及び「小海町使用料徴収条例」の一部を改正するものです。

全員賛成で可決

## 事件議決

◆賃料請求事件に係る訴えの提起  
株フィンランドヴィリッジを相手とし、土地賃貸料滞納額3,000千円の請

求について提訴するに当たり、地方自治法第96条第1項第12号の規定により議会の議決を求めるものです。

全員賛成で可決

## 議員発議

◆道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律による補助率等の高上げ措置継続に関する意見書の提出について  
長野県森林づくり県民税の適正活用及び活用事業の拡充を求める意見書の提出について  
全員賛成で採択し、関係機関に意見書を提出しました。

◆小海町議会会議規則の一部改正について  
全員賛成で可決

◆「全国森林環境税」の創設に関する意見書の提出について  
賛成多数で可決

## 陳情

●「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情について  
総務産業常任委員会では「閉会中の継続審査」とされましたが、これに対して本会議において再審査の動議が提出され、再審査の結果賛成多数で採択し、衆参両議長、関係大臣に意見書を提出しました。

## 第3回定例会の審議中賛成多数で可決された議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名)	古谷恒晴	渡辺均	井出幸実	井上一郎	小池捨吉	篠原伸男	篠原義從	的埜美香子	井出薫	新津孝徳	鷹野弥洲年	有坂辰六
(議案名等)												
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情を再審査することの動議について	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長職
「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	

# 問 I ターン促進や集落機能維持のため 空家の積極的利用を

答 町長 空家対策協議会を起ち上げたので、  
そこで検討していきたい

**問** 当町において年々空家が  
増えております。少子高齢化  
と人口減少による必然的な現  
象ではありますが、このまま  
では集落機能が破綻してしま  
うところも将来出てくるので  
はないかと危惧しております。  
現在、町の総戸数2008戸  
のうち、空家は約1割の182戸  
そのうち即入居可が16戸、少  
し改修すれば入居可が39戸、  
大規模改修が必要なものが95  
戸あります。また特定空家と  
呼ばれ放置することが不適切  
な状態にあるものが65戸あり  
ます。地権者と掛け合ってい  
ただいた上で、この空家をも



井上 一郎議員

**町長** 町も空家対策協議会を  
起ち上げました。インターネ  
ット等で呼びかけ小海の地を  
訪れ、体験してもらい空家を  
利用していただく。特定空家  
については地権者と協議をし  
ながら、環境面・災害未然防  
止面の対策を講じていきます。

**問** 現在空家の中で特に良い  
状態のものがありません。この  
物件は少し手を入れれば即入

つと積極的に利用してIター  
ン促進による人口対策、集落  
機能の維持対策はできないも  
のか。

**町長** 非常に素晴  
らしい提案だと思  
います。現在、市  
の沢地区で空家を  
改修し所有者自ら  
そういった施設を  
整備、運営してい  
こうとしている方  
がおられるので、  
その動向を少し見  
定めたいと思いま  
す。

**問** Iターン向け  
の空家整備につい  
て都会育ちの人を  
迎えるには水回り  
特にトイレは水洗

居可能な状態です。これを町  
で譲り受けIターンを考えて  
いる人達の居住体験施設にし  
たらどうかと思います。最近  
では南相木村でこのような目  
的で古民家を整備したという  
ことですが、是非当町でも積  
極的に取組んでみてはどうで  
しょうか。このような事業を  
行う場合は、国の補助制度も  
あるとお聞きしています。



南相木村の空家を改築した移住定住促進施設「たまる家」

というのが絶対条件だと思  
います。予め町で整備してお  
か、入居が決まった人に必要  
なところを整備するための助  
成制度を作り、Iターンに繋  
がれればと思います。

**町長** そういった助成制度等  
については空家対策協議会等  
で検討していきます。

# 問 今後の行政観光業をどのように考え進めるのか

答 町長 第六次長期振興計画で将来構想により進める



小池 捨吉 議員

**問** 小海町の観光行政を検証し今後、観光業務をどのようにするのか。また、観光客誘致は自助努力か他力本願か？

**町長** 観光については町の産業振興、経済部分でも大きな柱であります。

この中では保養型部分、登山型部分、体験型と食事処等もあり、二度、三度と小海を訪れていたくような施策を展開しているのが現状です。自助努力とあわせ他力も民間の力も借り共に観光を発展させて行くと言う事が基本的な考えです。

**問** 自助努力を優先するならば将来構想を今以上に真剣に考え、国の補助金・助成金が無くても将来構想に向けて実行して行く決意は。

**町長** 観光については経済的な部分もありますが、将来的な投資はしていきます。来年度は長期振興計画の全面的見直しの年を迎えます。町民又関係者の知恵を借り将来に向けての構想を練っていきます。

**問** 小海町の観光に対する熱意と施策が見えて来ない。現在町では観光に関係する

組織が八団体あると思います。利益を追求する組織は開発公社位かと思えます。利益を考えた組織づくり、また、他町村に比べ話題が無い町と言われていますが、これは職員を二・三年で異動させる事に問題があるではないか？

**町長** それぞれの立場、組織で頑張っていると理解しています。PR・情報発信も以前と比

べ良くなっています。職員の関係では役場職員というのは、二〜三年位で異動させざるを得ません。プロパーとして育てるのは小さい町に於いては出来ないのが現状です。

**小池議員** 観光行政推進にあたり、第六次長期振興計画で要望を取り入れる事を望みます。



マウンテンバイク24時間レース

# 問 町の子育て政策の特徴とそのアピールや成果は！

**答 町長** 「小海分院の小児科」や「子育てサポートこうみ」等地域皆で支えている



新津 孝徳議員

**問** 町では子育てをするなら小海町でと言っています。佐久総合病院の小海分院もあり福祉と子育ての町としてアピールしています。地方創生が声高に叫ばれている今日、本当に子育て政策は充実しているのか。子育ての町と言える由縁は何なのか。他町村より優れているところをお聞かせ下さい。

**子育て支援課長** 昨年度から実施している第1子から30万円の出産祝金の支給や小中学校の入学準備金という形の子育て応援クーポン支給事業は

小海町のみが実施しています。おむつ費用の助成や子育て世帯住宅取得助成事業も経済的負担の軽減につながる事業です。

**問** 政策内容は大変素晴らしいと思います。しかし、こういった内容をどんどんアピールし、町内外の皆さんに知っていただかないと移住定住につながりません。出生者と死亡する人の数を見ますとその差は歴然であります。自然減はどんどん進んでいます。町政は常に現状を直視し対応していかなければなりません。

子育て政策の成果について町長にお聞きしたいと思います。

**町長** 佐久総合病院の小海分院では小児科の先生が常駐しており緊急救急の治療等に対応しています。その他にも「できるひとができることをできる時に」といったキャッチフレーズで子育てサポートの皆さんも応援していただいています。

児童館や保育園でも同様に協力していただいているし、地域で皆さんで支える形にながっています。また保育料の見直し、通学バスや高校生の定期券の支援等、町民の求めに応じています。町民全体で多岐にわたり協力し合っています。すばらしいことです。子供の数が一人でも二人でも増えるというよ

うな状況を願っています。施策も大変重要であります。他にプラスアルファの何かが必要であれば難しいということ。農業の里親制度や新規就農も含めて対応して参ります。

**問** 町道沿いの町所有地を把握しているか。また支障木の管理についてはどう対応しているか。

**産業建設課長** 町所有地は管理システムにおいて把握しています。支障木除去は危険な箇所から優先的に実施しています。



子育て応援事業の助成などが掲載されている「総合支援ガイドブック」

# 問 町営事業のマイナスをどう評価するか

**答 町長** 赤字でいいとは言わないが、これは町の義務である



渡辺 均議員

## 林業センターの 事業運営を計画的に

**問** 林業センターの事業計画がとくられていない。誰がどんなサービスで収支はどうか。

**町長** 運営は指定管理者を公募。応募者が無い場合、直営せざるを得ません。収支はこれから町、業者で試算、収支目標を出し指定先を決めます。できる限り早く詰めて示していきます。

**問** 指定管理者が定める条例は不十分な内容に見える。町

の駅加工所では、検討会を組織し運営計画を起ち上げた。担い手候補を交えて、間口を広げたメンバーで事業を検討したらどうか。商工観光審議会にも諮らたらどうか。

**町長** 町の条例に従って指定管理者を指名します。審議会での論議はしっかり会議に図る方向でいきます。

## 町営4事業の収支と 経営改善について

**問** 温泉、音楽堂、美術館、スケートセンターの4事業で

は、1億2千万円というマイナスの負担が生じている。この事業評価、マイナスをどう見るか。

**町長** 利益が見込めるものは民間で。しかしスポーツや文化、福利厚生、健康増進などは町でやっています。これは町の義務であります。

**渡辺議員** 町民は満足しているか。アンケート等で町民の声を聞くこと、このマイナスが来年、再来年以降どんな見通しを立て改善されるのか、利用者が増えるのか、満足度が高まるのか、戦略的な視点で客観的に評価し、事業を進めていただきたい。

## 存続から充実・発展へ、 新たな小海高校を目指す

**問** 小海高校の充実、発展について、どのような取り組みが行われてきたのか。

**教育長** 6町村の教育長が集まり、勉強会、情報交換を实

施。「小海高校はなくてはならない」と県の教育長と意見交換などを実施しました。

**問** 6町村で充実、発展に対して温度差はないのか。小海町が考えるように、小海高校の必要性を受け止めているのか。

**町長** 若干温度差、考え方に違いはあります。進路の多様化で地域高校という意味合いが違ってきています。小海高校の立ち位置、存在が変わってきており、時代の流れを考えるべきであります。他の町村では小海町議会や町が感じているような危機感を持っていないと思います。



建設中の観光交流拠点センター

# 問 一、松原湖高原を生かした町づくり 二、職員の対応は法律に則ってすべき

答 町長 一、松原湖高原は年に数回の整備を検討  
二、労働基準法に基づき改善します



篠原 伸男 議員

**問** 昨年提案しました松原湖高原の白樺林の整備は、私が思った以上に町長は広い範囲で整備し、素晴らしい自然を生かした環境になりました。しかし年に一回だけではなく、森林ボランティアやリエクスの力をお借りして、年に数回すべきではないか。

**町長** ご提案により松原湖高原を整備し、見違えるような高原になり、この美しい自然を継続しなければならぬものであり、森林ボランティアの皆さんや関係の皆さんと協議し、整備を継続していかね

ばならないと感じています。

左側は八ヶ岳の絶景  
右側は美しい白樺林

**問** 松原諏方神社、北風小僧寒太郎を巡る松原湖周辺の散策。そして八ヶ岳、白樺林の八ヶ岳高原線を上り、現在建設中の小海町の西の玄関口の旧林業センターのルートは小海町の宝で、これを生かした観光振興を図るべきです。そして小海駅、新海誠さんの故郷の駅。その名物としての陸橋の汚れがすごい。今や新海誠さんに関わるものが大変脚

光を浴びています。あの陸橋から聖地として小海線、小海駅から撮影する人も少なくなっています。その改修が必要ではないでしょうか。

**町長** 確かに汚れていて外が見えない状況です。新海誠さんが小海線を取り入れているので、多くの皆さんが訪れます。今後は種々な観点から検討して、来るべき時には報告できるようにしたいです。

**問** 正職員、臨時職員はどのような基準で採用されますか。

**町長** 公募により採用します。正職員は学科、適性試験を実施し、面接で決めます。臨時職員は年最初に各課の要望を把握して採用します。

**問** 採用はガラス張り、情報公開が必要ではないか。また臨時職員も労働基準法に基づく対応が必要ですか。小海町の将来は

役場職員によって左右されます。そのためには広い視野を得る視察研修をもっとすべきではないか。

**町長** 労働基準法に則るよう配慮します。職員研修で見聞を広めて、仕事に活かす。私なりに考えてまいります。

**篠原議員** 見聞を広める研修費が倍増することを要望します。



役場庁舎内

# 問 公共施設縮減には町民の理解を

答 総務課長 関係者の理解を得ながら進める

**問** 町の公共施設等総合管理計画で施設の縮減目標値を13%としているが、将来減少する予測人口で施設の延床面積を割り返した数値を削減目標にしただけで、縮減対象の施設名も示されていない。単純でこれが将来計画なのかと疑問を感じる。人口減少により地域社会の縮小が進む中で、老朽化した施設の統廃合はやむを得ない。個別の削減施設名を明らかにして、関係者への丁寧な説明と理解をお願いし、計画的に縮減整理をすべきだ。



鷹野 弥洲年議員

**総務課長** 人口減少が進む中で今後町の財政負担を考慮し、施設の維持管理費を節約していかなくてはなりません。縮減対象の施設にしていくには、地元区や関係者の皆さんと後利用を含め、ご理解を得ながら進めていきたいと思えます。



通学路になっている小海トンネル

## 通学路に防犯カメラ設置を

**問** 近年、身近でも凶悪な事件や窃盗事件が発生している。子供たちや町民を犯罪から守るために、通園・通学路周辺や町村境に防犯カメラの設置をしてはどうか。カメラによって監視される社会など誰も望んでいないわけではないし、役にたつようなことがあってもほしくないが、犯罪の抑止力と事件の早期解決の糸口になる。対極にプライバシー保護の問題があるが、運用規定をしっかりとし、厳格に管理すれば問題ない。



通学路になっている土村向畑付近

**町長** 町民の安全安心を守るため、来年度当初予算で設置を考えていきます。まず保育園児を含め小・中・高校の通学路を優先し整備していきま

## 7時から早朝保育を実施

**問** 子育て支援の充実のために3月の一般質問で、佐久市方面への通勤者にとって始業時間に間に合わないのが7時から早朝保育を実施するよう求めてきた。実施の時期を早く広報することこそ計画性がもてることになる。来年4月から実施する考えがあるか。

**町長** 7時から要望があれば遠慮なく申し出てほしい。希望者があれば実施していきます。

# 問 週1回、町で温泉行き巡回バスの運行を

**答 町長** バス運営審議会の中で議論いたします  
ドライバーの確保が最優先であります



井出 幸実 議員

## 八峰の湯への巡回バスの運行について

**問** 私たちが小海町で安心して生活し子育てができたことは、先輩各位、高齢者の皆さんの尽力と努力のおかげと思っています。この感謝の気持ちをとお返しできればと思いついて、その一つが温泉への巡回バスの運行です。温泉に毎日のように来ている高齢者夫婦の方が、高齢になり運転してくることに不安を感じる、週に1回くらい温泉への巡回バスを運行してほしいのとこのことでした。高齢者にとって温

泉に入ることは一つの楽しみだと感じました。温泉に行きたくても自分で車を運転して行ったり来たりすることが心配で行けない高齢者がいます。是非、町で巡回バスの運行をお願いします。

**町長** 小海町の場合集落が点在しており、週1回でも毎日運行しなければなりません。ドライバーの確保が最優先されると思います。バス運営審議会の中でどういった形ならばその願いに応じられるのか、厳しいのか、意見を賜りたいと思っています。

## 町道銚掛五箇線の改良について

**問** 小倉原の五差路から茨沢地域の区間は、五箇、溝の原、銚掛の農家が野菜の出荷作業に利用しています。朝5時から10時ごろは大変混み合います。現在道路が狭いため、大型トラクターでの避け違いができないため臨時的に待避所を設けて通行していますがう

まく行きません。是非、茨沢川から梨の木原の畑までの間だけでも、道路の拡幅工事をお願いいたします。

**町長** 現地を調査させていただき町単で実施したほうが良いのか、補助事業を導入して実施したほうが良いのか、それらについて早速調査し、その結果を踏まえて相談させていただきます。



町道銚掛五箇線

# 問 太陽光発電施設設置に係る 条例が必要ではないか

答 町長 できるだけ速やかに対応してまいりたい



的埜 美香子議員

**問** 町内での太陽光発電設置（屋根以外）の状況は。

**総務課長** 農地法の届出等で把握しているもので25カ所です。

**問** つかみきれいていない箇所もあると思う。東日本大震災での原発事故以来、太陽光発電の関心が高まり、施設設置が広がる一方で周辺住民とのトラブルも発生してきているが、町では問題は起きていないか。

**総務課長** 耳に入ってきてい

るケースは特にございません。

**問** 私の方では景観に関する声を聞いている。大きな問題に発展する前にしっかりとルールや規制を整備する条例が必要ではないか。環境規制の弱い日本では事業化にあたり、ルールや規制を整備しないまま利益追求を優先した乱開発が起き、環境保全や住民の健康、安全に関わる問題を引き起こしている。こういったことから県や自治体で規制を強化する運動が進んでいる。近隣市町村の状況はどうか。

**総務課長** 佐久広域11市町村では小海町、川上村、南北相木村以外の7市町村で環境的な条例規則の中で規制しており、面積を基準に許可、届出の所もあります。

**問** 小海町でも早く条例等を定める必要があるのではないか。

**町長** 今後、他町村の条例、規則、ガイドラインを参考にしながら、自然保護条例、あるいは規則の中で対応できるか検討し、できるだけ速やかに対応してまいります。

**問** 町の臨時職員の処遇について①人数と勤続年数は。②福利厚生は。③ワーキングプアは。

**総務課長** ①1年未満16人、1年から5年以上が31人、6年から10年が28人、11年以上が7人の82人（社協職員除く）②パートを除く臨時職員の皆さんには厚生年金と社会保険に加入して頂き、健康診断料

の補助③賃金は20万円以上が33人、130～199万円が20人、129万円以下が29人です。

**問** 勤続年数5年以上が40人、何年働いても臨時職員のまま年収200万円に届かないワーキングプア水準の方が49人いる。如何なものか。

**町長** 雇用契約をご理解いただいて働いて頂いています。改正すべき時には改正し、間違っていたところはきちんと整備をしていきます。



東馬流地区の太陽光発電施設

# 問 成長した木で災害が起きる前に 何らかの対策を

答 町長 住民の安全確保ということで、具体的にお話があれば考えたい



井出 薫 議員

## 運転免許証自主返納者 支援事業について

問 平成8年から17年の事故件数を見ると、75歳以上は2万8千件から5万7千件に増えております。町で始めた自主返納者への福祉タクシー券支給事業の状況は。

町民課長 29年度から無料券12枚を3年間支給することにしました。すでに29人の方が返納され支援制度を受けております。

問 制度の情報はどのように

知らされているのか

町民課長 公民館報や防災無線、ホームページや春先に配りました支援の冊子にも載せてあります。さかのぼっても受け付けておりますので、すぐ申請していただければと思っています。

問 タクシーを使ったことがない。福祉タクシー券でどのくらい利用できるのか、情報を示してもらえないかという声があるが。

町民課長 確かに不安はある

うかと思えます。いくつか例を挙げ、チラシ、広報等で知っていただくようにしたいと思います。

## 芦平地区土砂崩落から 原因と教訓は

問 平成27年11月30日、芦平地区で土砂崩落があり、各方面で様々な努力がなされました。崩落防止の恒久工事や崩落原因の調査も含め検討となっているが。

産業建設課長 国の調査官の説明では、明確な原因の特定に至っていません。崩落した土砂は粘土状のドロドロした非常にもろいものであるということです。

問 私は素人判断で、芦平は何年か前にも崩れており、年月が経つうちに樺の木が成長が斜面のバランスを崩したのではないかと考えています。住町会議員選挙の中で、住

宅のそばの木が成長して怖い、困っているという訴えがありました。町営住宅等の周りの木も時間とともに大きくなっている。災害が起きる前に何らかの対応を。

町長 これまで日照の関係で木を伐りながら生活環境を整えるという方向でした。住民の安全の確保ということは共通した観念だと思います。具体的にお話があれば考えていきたいと思えます。



工事が進む芦平崩落現場

## 総務産業常任委員会からの要望

●フィンランドヴィリッジの土地賃料問題については、町が転賃借したことからはじまって多くの問題が顕著になると共に解決が長引いている。課題を整理すると共に今後の教訓とされたい。

### ○町長

平成4年からこれまでに生じた転賃借の問題、あるいは減額の契約の適正化がなされなかったこと、地代単価の問題等いくつかの課題が明らかになりました。今後このようなことが生じた場合、相手との交渉事項であり様々な要因もありませんが、これを教訓に慎重に対応してまいります。また今議会で議決をいただければ解決へと一歩進んでいくものと考えています。1日でも早い解決に努力してまいります。

●小海町観光交流拠点センターについては、町の事業計画を定め、特に松原湖高原方面への観光客誘導に重点を置くと共に、指定管理者の公募にあたっては、広く周知し、条例の設置目的に沿った法人、団体の選考について意を尽くされたい。

### ○町長

この施設につきましては西の玄関口として観光振興、交流人口の増、小海町、松原湖高原方面への人の流れの誘導へと繋げ、経済の活性化に資するために重要な施設であると認識しております。町としての事業計画を定めるとともに多くの法人、団体が応募申請していただくことを願い、町議会の議決をいただけるような法人、団体を指定できればと考えております。

## 予算決算常任委員会からの要望

●農産物加工直売所の改修工事は完了したが、整備不十分な部分を再点検し施設の充実を図られたい。

### ○町長

農産物加工直売所の改修につきましては売場面積の拡張、加工室の増設、カフェコーナーの設置等を行い、本年4月にリニューアルオープンし6ヶ月が経過をいたしました。来客数、売上等も確実に増加してきており、直売所の会の皆さんの頑張りのおかげで感謝を申し上げます。しかし、施設について観光客をはじめ利用者、生産者からの空調設備や既存部分のクリーニングなどが不十分であるとのご意見をいただいております。利便性の向上、気持ちよくお買い物等を楽しんでいただけるように、また、野菜の鮮度の保持等を図り更なる集客や売上額の増加に繋がるよう、直売所の会の皆さんと協議し施設の改善、充実を図ってまいります。

●農産物加工直売所に責任者の設置を検討されたい。

### ○町長

農産物加工直売所の責任者につきましては、現在役場職員や農産物加工直売所の会の会長さんをはじめ各部会長、地域おこし協力隊や直売所の職員と伴に情報を共有し管理運営に努めております。改修工事が完了しカフェや売り場面積の増などにより、いくつかの課題も見えてまいりました。それを解決するために直売所の会等の関係者と協議しながら、責任者の配置について具体的な検討を進めてまいります。

# 女性議会開催

昨年の子ども議会に引き続き今年度は、女性8名による女性議会が、10月11日に役場議場において開催されました。  
女性が日頃抱えている町政に対する意見や要望を質問し、活発な議論が展開されました。



## 議会を傍聴してみませんか

### 次回定例会は 12月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。

車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。

小海町議会

検索

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 にお問い合わせください。

## 編集後記

天候不順でした夏も終わり本格的な秋に移りつつある今日この頃です。9月定例会で「決算」も

認定され初当選議員の活発な一般質問も行われ無事終了する事が出来ました。国政では衆議院解散そして衆議院選挙と目まぐるしく動いており、国内外とも予断を許さない状況です。町民皆様におかれましてはスポーツの秋、食欲の秋であります。適度な運動を行い美味しいものを食し、これからやってきます冬に備え体を鍛えて行っていたいだきたいと思えます。私たちはこれからも皆様に愛される議会だよりになるようしっかりと取り組んで参りますので、ご意見ご感想そしてご支援のほどよろしくお願いたします。

(編集委員 篠原 義従)

編集責任者	有坂 辰六
編集委員長	的埜美香子
編集委員	鷹野弥洲年
編集委員	篠原 義従
編集委員	井出 幸実